

## てしかが

あけまして  
おめでとうござい  
ます

「力を合わせてヨイショ！」

12月6日に行われた、おひさま保育園(清水節子園長)の餅つきでの1コマです。園児が代わる代わる、お手伝いに来てくれたお父さんと一緒に餅をつきました。つきたての餅をお母さんに丸めてもらって、ごまやきな粉をつけて食べたほか、給食の時間にはお雑煮にいただきました。

## 主な内容

- 町長・議長・教育長 年頭あいさつ……②
- ほくたちわたしたち 午年……④
- 平成24年度決算報告……⑥
- 暴風雪事故などに備えて……⑩
- 冬もやります！弟子屈えこパスポート……⑫
- 町税などの納期限……⑫

むかしむか史 (279)

てしかが歴史写真館<sup>153</sup>

## 伝統

弟子屈にはさまざまなスポーツ団体がありますが、今回はテニスの活動の一部を紹介します。

1974(昭和49)年2月に弟子屈ソフトテニス協会(当時は弟子屈軟式庭球協会)が設立されました。発足当時は弟子屈営林署内にコートが1面あるだけでしたが、いろいろな経緯を経て900草原の入り口付近に4面のコートが作られました。最盛期の協会メンバーは130人までの広がりを見せ、標茶・標津・中標津・厚岸・弟子屈の5町による大会などが盛んに行われていました。そのような背景もあって、次第に子どもたちの関心も高まり、弟子屈テニス少年団の活動が始まりました。

テニス少年団の子どもたちは、学校の先生や協会の方から指導を受け、小学生からテニスができる環境にあります。1990(平成2)年と1994(同6)年には全国中学校テニス大会への出場を果たし、現在、全道大会の前哨戦となる釧路地区大会で弟子屈中学校は10連覇しています。一方、中学校では勝敗のみならず、気持ちを強くすることで、団体生活における規律などを体験的に学びます。

弟子屈高校の教師と話したときのことでありますが「私たちは、弟子屈高校生として小・中学生の見本となるように、大会などにおいて積極的なコート片付け・手伝いなどを始め、今では釧路支部全体に広がり、生徒たちの自主的な動きに展開しました。今後も礼儀やマナーといった部分を広げていきたいと考えています」とスポーツに対する姿勢を聞きました。学校・テニス協会・地域が子どもたちを応援している姿があります。

このように弟子屈のテニスには伝統があり、子どもたちがテニスを通じて培ったスポーツ精神が強い心をつくり、社会で柔軟に対応する力をつけていくことにつながっていきます。

てしかが郷土研究会(藤江)

2014.1  
てしかが毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696  
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>R100 この広報紙には  
再生紙を使っています